

《壁画が故郷に戻ったぞ！》



前号でもお知らせしたように旧上名立小学校昭和39年度卒業生が制作した東京オリンピック記念壁画が約2か月半ぶりに“故郷”のろばた館に戻りました(左写真)。

ろばた館が“安住の地”になるかは現段階ではなんとも言えませんが、「誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるまちづくりを進めているんですから、壁画のボブ・ヘイズ(男子100m金メダル)や“東洋の魔女”(女子バレーボール金メダル)たちもきっと喜んでくれるはずですよ。

こうして、7月16日に旧体育館で取り外し(左下写真)、7月23日に公民館名立分館に移設(右下写真)され、多くのみなさんからご覧いただき、(実家ではないけどお隣さんに)ようやくの里帰りです。

これからも地元のみなさんやろばた館利用者のみなさんから長く長〜く愛されることを祈ります。



この間、名立区総合事務所、上名立地区振興協議会や当時小学6年生で壁画の制作を行った石井浩順さん(小田島)など、多くのみなさんからご協力をいただきましたが、なんといっても飯塚建築の飯塚明さん(折戸)には大変お世話になりました。

旧体育館での57年ぶりの取り外しは猛暑の中で汗だくでの作業でしたし、名立地区公民館とろばた館への移転設置では壁画にも施設にも損傷がないよう細心の注意を払いながら、様々なプロの技を見せていただきました。

この紙面で改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

名立の山々もこれから錦秋の秋を迎えます。

紅葉狩りの帰りにろばた館でポカポカ温まった後でじっくり壁画をご覧になってください。

お待ちしております。

《夢プロ・レポート第2部②》

まち協だより10月号や公民館からのチラシでもお知らせしたように、来年秋の公演に向けて、現在、キャストとスタッフを募集しています。

「劇なんてできないわね」とか「スタッフってなににするんだね」とか…いろいろな不安や疑問をお持ちの方もいるかと思いますが、『見る前に跳べ!』の精神でやってみませんか?

みなさんからの申し込みをお待ちしています。



【編集・発行】名立まちづくり協議会 会長 三浦 元二

上越市名立区名立大町200-1(名立地区公民館内)

担当:金子 僚子、石井 三千代

☎:025-537-2182 FAX:025-546-7041 ✉:matikyo-nadati@bz04.plala.or.jp



名立まちづくり協議会 会報

まち協だより

2021年10月25日発行

No.18【錦秋号】



《名立区敬老祝賀会を開催しました》

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった敬老祝賀会を、今年度は北部地区・南部地区2会場の分散開催ほか、様々な感染症対策を講じたうえで開催しました。

北部地区は10月3日(日)に名立地区公民館体育館で、そして南部地区は10月11日(月)にろばた館で開催し、それぞれ41名の参加者がありました。

北部地区の式典では村山秀幸市長から「これからもお健やかに過ごしていただき、地域との関わりを持っていていただきたい」とあいさつがあった後、浦安の舞や日本舞踊、二胡の演奏などをお楽しみいただきました。

また、南部地区でも民謡と二胡の演奏を楽しんでいただいたほか、両会場とも名立たちばな保育園の園児からのメッセージと踊り、宝田小学校5.6年生による「宝田太鼓」、名立中学校全校生徒による「名中ソーラン」のビデオをご覧いただき、参加者のみなさんには笑顔が広がっていました。

このほか、参加者全員でのジャンケン大会など、半日開催や会場での飲食なしなど、これまでの祝賀会から大きく変わった内容になりましたが、参加されたみなさんからは「久しぶりにみんなに会えてよかった」や「勝てなかったけどジャンケン大会がおもしろかった」、「初めて二胡の演奏を聴き、涙が出た」などの声が寄せられました。

なお、敬老祝賀会に参加いただけなかったみなさんには、宝田小5.6年生のみなさんから心温まるメッセージとイラストが描かれた‘のし’付きのタオルのほか、赤飯、祝菓子をお届けさせていただきました。

13区で敬老祝賀会が開催されたのは名立区だけでしたが、来年は名立区や多くの区でもみなさんが心配なく集えるようになることを心から祈ります。



北部地区：市長あいさつ



北部地区：粹扇会の日本舞踊



北部地区：二胡演奏



南部地区：声健会の民謡



南部地区：ジャンケン大会



宝田小5.6年生作成のメッセージ付きのし紙

このように2年ぶりの敬老祝賀会が無事開催できたのは名立区総合事務所、4地区振興協議会、名立区いきいきサロン運営協議会、まち協福祉部会のご協力によるものであり、厚くお礼を申し上げます。

